

会 議 録

会 議 の 名 称	平成２９年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第１回）
開 催 日 時	平成２９年５月１５日（月） 午前１０時から１１時まで
開 催 場 所	新座市役所本庁舎２階第３・４委員会室
出 席 者	金子 廣志 入山 尚浩 小林 奈々江 須田 邦彦 石原 志穂 岩出 晃 志摩 光信 荒井 規行 中野 仁美 高野 章 設楽 知子 宮川 みさ子 鈴木 義弘 渡辺 哲也 榎本 哲典 増子 義久 金子 啓一 計１７名
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 小糸副課長、富樫主査、藤田主任、 天倉主事、岡村主事、武嶋、高野
会 議 内 容	１ 開会 ２ 挨拶 ３ 新委員の委嘱、任命及び紹介 ４ 議事 （１） 役員の決定について （２） 平成２８年度事業報告及び決算報告について （３） 平成２９年度事業計画及び収支予算について （４） 子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について （５） 新規開設校進捗状況について （６） 今後の予定について （７） その他 ５ 閉会
会 議 資 料	・ 次第資料 ・ 委員名簿

そ の 他 の 必 要 事 項	特になし
審 議 の 内 容 （審議経過、結論等）	
1 開会（天倉主事） 2 挨拶（金子教育長） 3 新委員の委嘱、任命及び紹介（天倉主事） 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会設置要綱第3条において、教育長が委嘱、又は任命するとなっている。また、同要綱第4条の規定により、平成28年5月に委嘱又は任命を受けた委員の皆様は、平成30年3月31日までの任期となっている。しかし、人事異動や団体の役員交代により、本運営委員会委員に変更が生じたため、新たに委員となられた方々を委嘱、任命及び紹介をさせていただく。任期は平成30年3月31日までである。 欠席した委員からは任命について事前に了解を得ている。 （委員の呼名紹介、事務局職員の自己紹介） 4 議事 これ以降の議事については、運営委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が行うこととなっているため、進行役を金子教育長にお願いした。 (1) 役員の決定について 事務局 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会設置要綱第5条の規定により、平成28年度第1回運営委員会で役員就任をしていただいていたが、人事異動等により、今回副委員長、監事、会計についてご協議いただきたい。 意見が出されなかったため、事務局より、副委員長に陣屋小学校・入山尚浩校長、監事に子育て支援課・榎本哲典課長、会計に生涯学習スポーツ課・金子啓一課長に就任していただく案を提出し、承認された。 （金子委員長退席のため、この後の進行役を入山副委員長にお願いした。） (2) 平成28年度事業報告及び決算報告について（報告：富樫主査） 資料1～5ページのとおり報告した。 平成28年度収入支出決算書について、須田監事、鈴木監事より会計監査報告を行った。 → 異議なし。 → 承認された。 (3) 平成29年度事業計画及び収支予算について（説明：富樫主査）	

資料 6 ～ 7 ページのとおり説明した。また、事務局より 8 ページのとおり収入支出予算書（案）を提出した。

→ 異議なし。

→ 承認された。

(4) 子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について（説明：富樫主査）

○学年別登録者数（資料 1）

平成 29 年 4 月末日現在の各ココフレンドの登録者数は、東北ココフレンドは増加、他の既存校 7 校は、昨年とほぼ同数か、若干少なくなっている。

例年、1 学期は追加登録が多いので、最終的には前年同様になると思われる。東北ココフレンドについては、昨年の夏季休業期間中の午後の開室から拡充し、今年度は冬休み、春休み期間中も午後の開室をすることから、東北ココフレンドの放課後の居場所としての重要度が増していると考えられる。

新規開設の大和田ココフレンドは、在籍児童数 897 名のうち、登録児童数が 439 名、登録率は 48.9% である。新規開設時から 5 割近い登録があるのは、放課後児童保育室の大規模化・狭あい化の背景から、保護者のココフレンドへの期待や関心が表れているためと思われる。ちなみに昨年度開設の新開ココフレンドの開室時の登録率は 42%、一昨年開設した栗小ココフレンドは 38% であった。学年別では低学年の登録率が高いが、この傾向は他のココフレンドも同様で、平成 24 年度の事業開始当初からの傾向である。また、大和田ココフレンドは 5 年生の登録率が高くなっているが、放課後児童保育室が 4 年生までとなっているためだと考えられる。

○月別参加人数（資料 2）

平成 29 年 4 月の参加人数は昨年とほぼ同様である。また、保護者会等がある日に参加人数が増えるという傾向も変わっていない。しかし、保護者会等の日の参加人数が 100 名を超えるココフレンドが、昨年の 2 校から今年度は 3 校になり、他のココフレンドも 100 名近い参加があった。また、1 年生は 4 月 17 日（月）から参加したが、入学して間もないこともあり、どのココフレンドも参加人数はあまり多くなかったということである。

○各ココフレンドの活動状況報告

（石神、新堀、四小、栗小ココフレンドについては、コーディネーターから、東野、東北、野寺ココフレンドについては、事務局から報告）

〈東野ココフレンド〉（富樫主査）

- ・ 全学年とも慣れてきたせいとか少し落ち着きがない様子が見られる。
- ・ 毎日 40 名から 50 名の参加があり、元気に活動している。
- ・ 目の離せない児童が数名参加しており、怪我などがないようにスタッフ一同心掛けている。

〈石神ココフレンド〉（中野コーディネーター）

- ・ 6年目になるが、今年度から専用のスタッフルームができた。これから校舎の大規模改修工事があるのでまだ落ち着いてはいないが、昨年までのように 受付場所が変わることもなくなり、1年生も早くなじめたと思う。
- ・ スタッフが皆ベテランになってきており、モチベーションが上がらないようにも思えるので、5年くらいを節目に感謝状のようなものを渡すのはどうか、と考えている。
- ・ 日々の参加人数は30名から50名くらいである。石神小学校は、懇談会が低学年、中学年、高学年で分かれているので、低学年の日に集中してしまう。4月の懇談会の日には126名の参加があった。この日初めて参加する1年生も多かったが、学校から和室や図書室を貸していただき、学年毎に分かれて活動したので特に混乱はなかった。
- ・ 石神ココフレンドは日頃からお迎えをお願いしているので、お迎えのない児童は毎回10名くらいである。4月は不審者等で2回一斉下校があったが、急な対応もスムーズにできた。
- ・ 放課後児童保育室から、放課後児童保育室の生活に慣れるために、1年生は4月中のココフレンドの利用を控えるように伝えたこともあり、昨年のようなダブル登録児童の混乱はなかった。

〈東北ココフレンド〉（富樫主査）

- ・ 1年生を迎え、益々賑やかで楽しいココフレンドになってきた。
- ・ 開設5年目となり、慣れから甘えた行動をする児童も出てきている。その都度注意をし、細かなルールを決めることがある。
- ・ 登録が多かったこともあり、特に保護者会や面談の日の参加が非常に多くなっている。4月20日（木）にはこれまでで一番多い173人の参加があった。4月は平均で54名だった。
- ・ 今年も夏季休業中の午後の実施に向け、過ごし方や、コーディネーターとスタッフのシフトの検討を始めている。

〈新堀ココフレンド〉（高野コーディネーター）

- ・ 5年目を迎えたが、スタッフの入替わりがほとんどないので、児童・保護者の思いとスタッフの思いが落ち着くところに落ち着き、安定した活動になってきた、と感じる。
- ・ 大型連休明けから1年生の参加が増えてきており、家庭訪問や個人面談が続いたこともあり、全体で50名近い参加が続いている。
- ・ 新堀ココフレンドはスタッフルームが1階にあり30名ほどが活動できる。それを超えると3階のランチルームや図工室などを使わせてもらう。4月は慣れない児童が多いので、安全面に気を付けてスタッフが見守っているが、活動場所が複数になるとスタッフが手薄になってしまうこともある。
- ・ 大型連休明けから1年生に宿題が出ている。最近はおよそ1年生がココフレンドで宿題を済ませるようになってきた。1年生は友達関係や遊ぶ事に慣れていないので、宿題の後そのままスタッフルームで室内遊びをする児童が多い。声かけをして外で遊ぶ機会を増やそうとスタッフと話しをしているところである。

- ・ スタッフが空き箱などの工作の材料を自宅から持ってきてくれる。子ども達は自由に選んで工作を楽しんでいる。自分で工夫して熱中して遊ぶ姿を見ると、良い居場所になっているのと思う。

〈四小ココフレンド〉（設楽コーディネーター）

- ・ 1年生の初日の参加は11名と昨年よりも少なく、楽しく過ごせた。昨年は、学校に慣れないうちに参加し戸惑う1年生が多かったので、2月の入学説明会で学校に慣れてからの参加をお願いしていた。
- ・ 最近は1年生の参加が増えてきたが、お迎えのない家庭が多い。1年生は通学路にも慣れていないので、手紙で保護者にお迎えの協力を呼びかけたい。昨年は、子ども同士で帰り、道が分からなくなってしまったことがあった。
- ・ 今年度からスタッフルームが移動になり、固定電話から携帯電話に変わった。ココフレンドだよりで保護者にお知らせしているが、学校に問い合わせってしまう保護者がいる。周知徹底をしていきたい。
- ・ 四小ココフレンドは、電話連絡をいただければ急な参加も可能としている。その場合はコーディネーターやスタッフが教室まで児童を迎えに行っているのだが、児童のお迎えを忘れてしまったことがあった。そういったことがないよう、コーディネーターとスタッフで話し合っていきたい。
- ・ 特別な見守りが必要な児童が何人か参加している。怪我なく楽しく過ごせるよう配慮していく。
- ・ 紙芝居や手遊びなど、スタッフの特技を活かして、1年生も楽しく活動している。

〈野寺ココフレンド〉（富樫主査）

- ・ 野寺ココフレンドは今年度322名の登録でスタートした。昨年度は運動会が終わっても1年生の来室がなく心配したが、今年度は初日から20名前後の1年生が元気に参加した。
- ・ 開室から4年目を迎え、低学年からココフレンドに参加している児童が高学年になり、登録、来室が多いのが今年度の特徴である。
- ・ 過ごしやすい季節になり、子どもたちが思いきり校庭で外遊びをする姿がよく見られる。様々な事情で来室する子どもたちも少なくないが、楽しく放課後を過ごせるように色々な仕掛けを考えたい。

〈栗小ココフレンド〉（宮川コーディネーター）

- ・ 昨年度は低学年の参加が中心で、5、6年生の参加はほとんどなかった。今年度は3年生以上の児童の参加も多く、昨年度とは違った6学年を通しての異年齢集団という形でスタートができた。
- ・ 16名のスタッフはこの一年間変わっていないので、息の合った見守りができている。スタッフの経験、趣味、特技などを活かして、いろいろな仕掛けやオリジナルの遊び道具を作ってくれている。スタッフの方々の力量に支えられていると感じている。
- ・ 現在の課題は、1年生の対応と、新規に参加した児童の名前や個性を把握することである。個々に対応を要する子どもたちもいるので、怪我がないことを第一に考えて見守りをしている。
- ・ 今年度からスタッフルームが少人数算数教室と共用になったので、毎

日ココフレンド終了後に片付けをしなくてはならなくなった。

- ・ 子どもたちにとって楽しい場所になるように、皆で力を合わせて今年度も見守っていく。

〈新開ココフレンド〉（富樫主査）

- ・ 昨年５月下旬に開室し、今年２年目を迎える。新開ココフレンドにとって４月、５月の活動は初めてである。懇談会の日の参加人数が多いことに驚いた。どの行事の時に参加人数が多いか、昨年の経験を活かして対応していきたい。
- ・ 子どもたちはとても明るく元気である。昨年度から登録している児童はココフレンドの生活に慣れ、下級生や一年生に優しく声をかけている様子も見られ、縦割り集団の良さを感じることができる。
- ・ 参加人数も増えていることから、新開ココフレンドの存在感が出せるようこれからスタッフ一同取り組んでいきたい。

(5) 新規開設校進捗状況について（説明：富樫主査）

資料３のとおり説明した。

委員 夏季休業中のココフレンドの活動について、放課後児童保育室との調整などはどのようになっているか。また、石神小学校で大規模改修が行われるが、石神ココフレンド夏季休業中の活動はどうなるのか。

事務局 大和田ココフレンドについては、夏季休業中はスタッフルームを放課後児童保育室に明け渡すことになっている。現時点では具体的な調整に至っていないが、子育て支援課、社会福祉協議会と協議していきたい。

石神小学校の大規模改修工事の進捗状況について教育総務課に確認したところ、夏季休業前まではココフレンドのスタッフルームを使用することができる。夏季休業中の活動については、今後コーディネーターと共に検討、調整をしていく。

東北小学校と大和田小学校では、長期休業期間中の午後も開設する。東北ココフレンドは昨年度と同様に、午後はシルバー人材センターに教育活動サポーター業務を委託する。大和田ココフレンドについては、放課後子ども教室の運営のノウハウを持った業者に教育活動サポーター業務を委託する予定である。

委員 夏季休業中、大和田ココフレンドはどこで活動するのか。

事務局 現在、旧図工室でスタッフルームの準備を進めているが、夏季休業中は視聴覚室に移動するということで学校側と調整したところである。

(6) 今後の予定について（説明：富樫主査）

資料４の通り説明した。

(7) その他

委員 ココフレンド事業開始時の参加率の目標値はどれくらいだったか。

事務局 これまで実施してきて、学校の行事、特に保護者会などの日には参加人数が増えることはわかっているが、通常の参加人数は当日にならないとわからない。事業開始にあたり、モデルとした所沢市の１日当たりの参加人数が、２０名から３０名くらいであった。特に目標値は設定していなかったが、同様の参加人数を予想していた。

委員 5、6年生の参加が少ないようだが、放課後児童保育室が終了した5、6年生の新たな受け皿としてココフレンドに期待しているという話も聞いている。何か新しい切り口で、5、6年生の参加を促してみたらどうか。異年齢集団の活動や、高学年の子どもたちがスタッフを手伝うのも良いと思う。低学年の児童の見守りに必要なケアなどについては先ほどから話が出ているが、高学年の参加について情報共有する場はあるか。

委員 5、6年生は授業が終わる時間が遅く、放課後も塾や習い事に行く児童が多いため、参加者が少ないと考えている。今のところ特に高学年に限って啓発する予定はないが、このような場でいろいろな御意見を頂き、今後検討していきたい。

委員 現在、放課後児童保育室の延長保育は午後7時までである。今後保育時間が延長になった時に、ココフレンドがどのように対応していくのか課題である。高学年は参加できる時間が短いので参加者は少ないが、夏季休業中の午前中の開室、また、東北ココフレンド、大和田ココフレンドでは午後も開室するので、高学年の参加が増えるのではないか。ココフレンドは保育施設ではなく子どもたちに豊かな体験をさせる居場所づくりであるが、ココフレンド開室時間などが今後の課題になってくると思う。

5 閉会（入山校長）